

小中学校適正配置 基本計画（案）説明会 主な意見及び質疑について

1. 開催日と参加人数

開催日	10月25日(水)	10月26日(木)	10月28日(土)	10月28日(土)	
開催場所	伯太会場	飯梨会場	広瀬会場	二中会場	計4会場
参加人数	31人	8人	20人	14人	計73人

2. 主な意見と質疑

- ・小学校は多くが築50年を超えている。急がなければならないのではないか。
- ・通学エリアや時間の目安からすると、校舎の場所は自ずと決まってしまうのではないか。
- ・子ども優先ということで仕方ないと思うが過疎が進行するのではないか。学校再編を急ぎすぎではないか。
- ・優先すべきは子どもである。合意形成を図る上で、地域の声で肝心なところがゆがめられないようにすべきである。
- ・子どもの数の減少、学校の減少は寂しいが、仕方がない。学校も地域も、いい方向に進むとよい。
- ・合意のための協議体は、どのように進めるのか。
- ・共育協働活動や学校運営協議会の活性化のためには、地域から学校を支える人々の人材育成も重要である。
- ・ICT技術が発展する中、子どもが集まらなると学習はできないのか。地方では、子どもが少ないからこそICTを活用した先進的な教育など、特色ある学校づくりをしてはどうか。
- ・どの程度のことをもって合意というのか。
- ・12年後には街の様子も変わると予想されるが、都市計画を踏まえた上での計画なのか。
- ・継続となった学校について、令和17年度まではこのままなのか。
- ・複数校が再編対象となった校区では、その再編のタイミングは一緒なのか。
- ・学校と地域のつながりを大切に進めてほしい。

※同じ主旨の質疑はまとめて掲載しました。また、個別の学校に関する質疑等につきましては割愛しています。